

I 章

震災・学校支援チーム (EARTH) とは

EARTHとは、防災に関する専門的な知識や実践的な対応力を備えた教職員のチームであり、**E**mergency **A**nd **R**escue **T**eam by school staff in **H**yogoの頭文字をとり**EARTH**(アース)と呼ばれています。

since 2000

1 EARTH 設置の経緯と趣旨

☆平成 12 (2000) 年 4 月 1 日発足した。

☆震災時に受けた全国各地からの支援に報いるため、災害により避難所となった学校を支援する教職員の組織である。

平成 7 (1995) 年 1 月 17 日に発生した兵庫県南部地震では、被災地の多くの学校が避難所になった。教職員は避難所となった学校に泊まり込み、避難所運営に尽力した。被災地の学校では、県内外から延べ約 8,000 人にも及ぶ教育関係者の支援を受けた。

県教育委員会では、平成 7 (1995) 年度の防災教育検討委員会の提案を受け、防災や避難所運営等に関する専門的知識や実践的対応能力を備えた防災教育推進指導員の育成に着手した。

平成 11 (1999) 年、トルコ北西部大地震に際しての教育委員会事務局職員の派遣や集集大地震 (台湾) での教育復興担当教員の派遣も契機になり教職員で構成する支援チームを組織しようという機運が高まり、翌平成 12 (2000) 年 1 月 17 日にトルコやアメリカ等の諸外国の教育関係者も見守る中で結成式を行い、災害発生時に学校再開を支援するための教職員による全国で初めての組織が発足することとなった。

創設時には、防災教育推進指導員や教育復興担当教員等避難所運営に関わった 90 名の教職員と、5 名のカウンセラーで組織され、以降、初めての派遣となった北海道有珠山噴火 (2000 年 4 月) から、東日本大震災 (2011 年 3 月) に至るまで、被災地の学校再開の支援や防災教育の推進を図る活動に取り組んでいる。平成 27 (2015) 年 4 月現在 159 名の教職員と 3 名のカウンセラーで活動している。



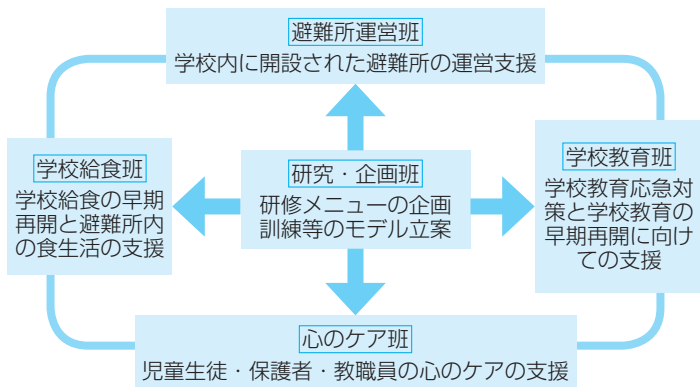
EARTH 結成式で紹介される各班の班長

2 EARTHの組織と各班の活動内容

1 EARTHの組織図

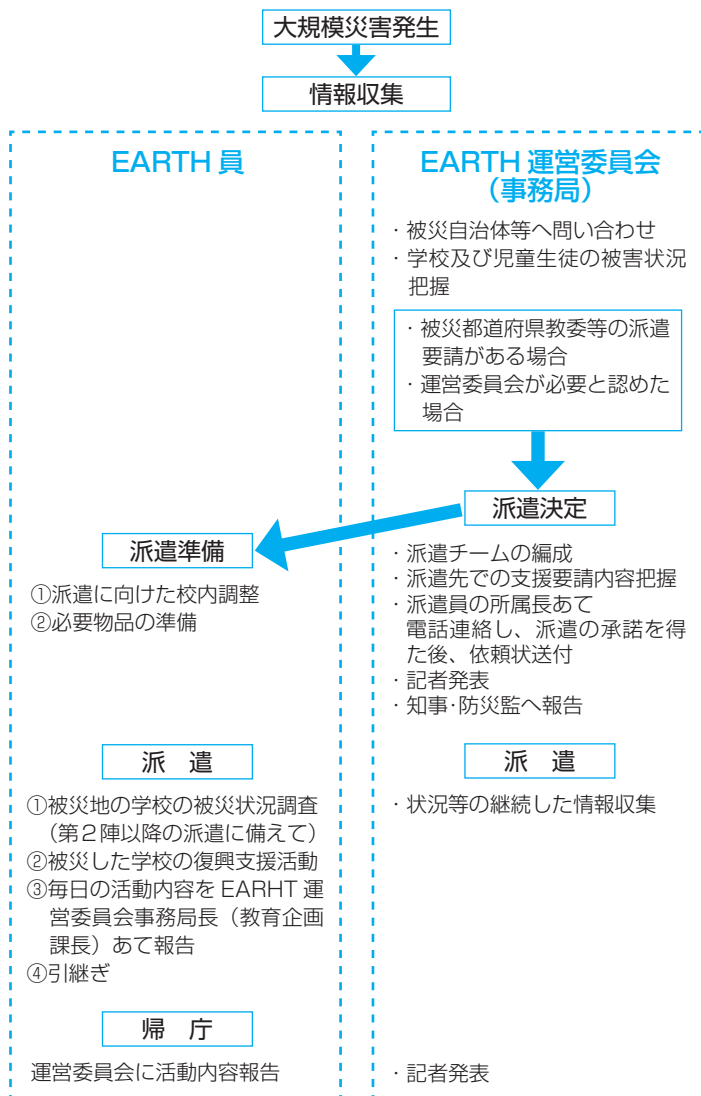
EARTH 運営委員会・EARTH 運営委員会事務局					
<ul style="list-style-type: none"> 派遣者の選出 ・ 組織の編成 ・ 訓練 ・ 研修内容の検討 運営委員会開催の準備 ・ 訓練 ・ 研修計画の実施 EARTH 派遣に伴う連絡調整 					
EARTH	学校教育班	心のケア班	避難所運営班	学校給食班	研究・企画班
	〈構成員〉 <ul style="list-style-type: none"> 防災教育推進指導員養成講座上級修了者 県内公立学校の主幹教諭・教諭・養護教諭・事務職員及び栄養教諭等 				〈構成員〉 <ul style="list-style-type: none"> 班長、防災教育専門推進員経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 各班には班長1名と、副班長を若干名を置く 各地区にはリーダー1名、サブリーダー1名を置く 特別構成員としてスクールカウンセラー等を置く 				
	活動内容				
	災害時 <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育応急対策と早期再開に向けての支援 →P13へ ②児童生徒等の心のケアの支援 →P25へ ③学校における避難所運営支援 →P39へ ④学校給食の早期再開と食生活の支援 →P55へ 		平時 <ul style="list-style-type: none"> ①各種研修活動等での指導助言 ②各学校での兵庫の防災教育の推進 ③各地域の地域防災体制への協力 		

2 各班の活動内容



3 派遣の手順

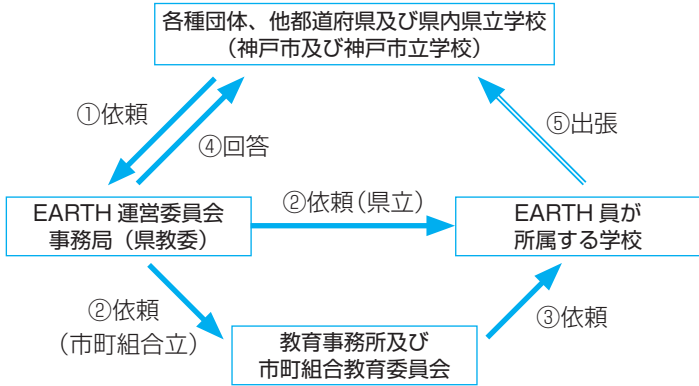
● (1) 災害派遣



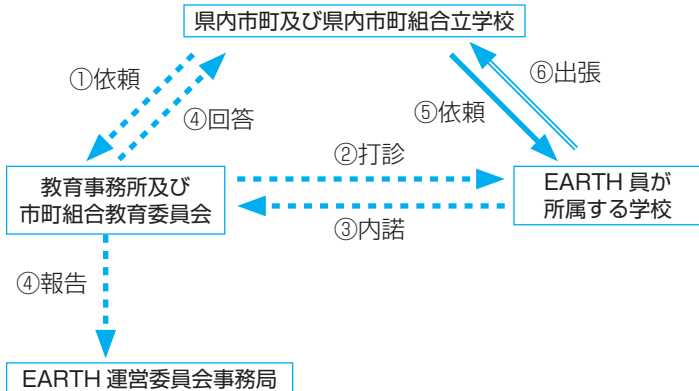
● (2) 講師派遣

- ☆県内外の学校や地域の防災教育の推進に資するため派遣する。
- ☆各種団体、他都道府県及び兵庫県立学校からの要請の場合は EARTH 運営委員会事務局が窓口となる。
- ☆県内市町及び県内市町組合立学校からの要請の場合は学校を所管する教育事務所が窓口となる。

1 各種団体、他都道府県及び兵庫県立学校からの要請の場合



2 県内市町及び県内市町立学校からの要請の場合



——▶ 文書によるもの

⋯⋯▶ 電話、FAX、メール等によるもの

4 EARTH 員のスキルアップ

☆養成段階（委嘱前）

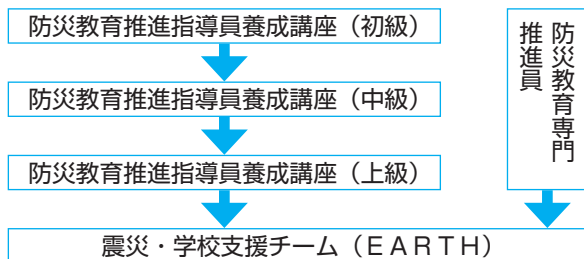
防災教育推進指導員養成講座（初級・中級・上級）

☆ EARTH 員のスキルアップ研修（委嘱後）

年間2回の訓練・研修会

- ・専門的知識の習得をめざす講座
- ・実践的対応能力の強化をめざす訓練

1 震災・学校支援チーム（EARTH）員になるには



※初級、中級、上級の各講座は2年以上かけて受講する。

※上級修了者又は防災教育専門推進員経験者の中から委嘱する。

2 防災教育推進指導員養成講座の主な内容

【初級】から【上級】まで下記の内容で養成を行う。

(1) 防災体制

- ①危機管理… 避難所運営方法、県の防災体制の理解、学校教育の早期再開の方法、避難所における食の支援方法
- ②防災訓練… 防災訓練の実践方法、救急救命法、自主防災組織の役割

(2) 防災教育

- ①教材開発… 副読本・学習資料等の活用、防災学習教材の開発・活用、防災教育推進上の工夫、各教科における防災教育
- ②災害ボランティア活動… 災害ボランティア基礎知識、実践発表、ボランティアコーディネーター基礎知識

(3) 心のケア……………心のケア基礎知識、心のケア発展知識

3 EARTH 訓練・研修会の実施例 (平成 27 (2015) 年度)

第 1 回：主に専門的知識の習得を目指した講義・演習等

- ア 班及び地区の組織づくりと活動計画作成
- イ 講義 被災児童生徒等の心のケア
防災教育の実際
- ウ 演習 教職員の意識の向上を図る研修
- エ 講義 東日本大震災被災地支援報告
県外講師派遣報告 (災害派遣活動報告)
- オ 討議 阪神・淡路大震災の語り継ぎ → P132 へ



第 1 回訓練・研修会

第 2 回：実践的対応能力の向上を図るための訓練
(県や市町主催の防災訓練への参加等)

- ア シミュレーションによる校内・校区安全確認訓練
- イ 学校教育早期再開に向けたシミュレーション
- ウ ストレスマネジメント技法による訓練とチェック
- エ 副読本、学習資料等を用いた防災教育
- オ 非常食炊き出しと食の指導訓練



第 2 回訓練・研修会

5 EARTH 員としての心構え

- 1 災害支援への心と体の準備を普段からしておく。
- 2 勤務校で、派遣に備えての協力体制を整えておく。
- 3 勤務校で、専門性を活かし、防災教育・防災体制の充実に向け協力する。
- 4 個人装備として必要なものを準備しておく。
- 5 EARTH 員として活動する時に携帯する EARTH 員証及び EARTH ハンドブックや着用する帽子・ベストをいつでも取り出せるよう準備しておく。
- 6 県教育委員会の主催する EARTH の訓練・研修会には必ず参加する。
- 7 県や各分野の主管団体から案内する防災訓練や地域での自主防災活動にも積極的に参加する。
- 8 災害等の情報収集に努める。その際 EARTH 員用緊急連絡網を有効に活用する。

EARTH 員証表面(見本)

<i>EARTH</i> No. _____	
Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo	
EARTH 員証	
氏名 <u>兵庫 太郎</u>	
上記の者は、震災・学校支援チーム (EARTH) 員であることを証明する	
平成 年 月 日	印
兵庫県教育委員会	

名刺(見本)

震災・学校支援チーム	
<i>EARTH</i>	
Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo	
兵庫 太郎	
Hyogo Tarou	
所属	兵庫県立〇〇高等学校
	〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
	tel 078-341-〇〇〇〇
	fax 078-362-〇〇〇〇

※万一、EARTH 員証や帽子・ベスト、ハンドブックを紛失した場合は、EARTH 運営委員会事務局（兵庫県教育委員会）まで連絡する。

6 災害派遣時の準備チェックリスト

☆準備物は災害派遣の場所、季節、災害発生後の経過日数、災害の種類等によって適宜考慮する。

1 EARTH 員として持っていくべきもの

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> EARTH 帽子 | <input type="checkbox"/> EARTH ベスト |
| <input type="checkbox"/> EARTH 員証 | <input type="checkbox"/> 共済組合員証 (保険証) |
| <input type="checkbox"/> EARTH ハンドブック | |

2 生活するために必要なもの

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> 長袖シャツ・長ズボン |
| <input type="checkbox"/> 着替え | <input type="checkbox"/> 靴下 |
| <input type="checkbox"/> 寝袋 | <input type="checkbox"/> タオル (2~3枚) |
| <input type="checkbox"/> 現地地図 | <input type="checkbox"/> 防塵マスク |
| <input type="checkbox"/> 救急用品・医療品 | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 小型ラジオ (手回し発電式) |
| <input type="checkbox"/> カップ (上下別) | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | |
| <input type="checkbox"/> 非常食 (チョコレート、 α 化米、黒砂糖飴等) | |
| <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター (ペットボトル) | |

3 あると便利なもの

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 防寒コート | <input type="checkbox"/> ポンチョ |
| <input type="checkbox"/> 安全靴 | <input type="checkbox"/> ウエストポーチ |
| <input type="checkbox"/> バンダナ | <input type="checkbox"/> 調理用使い捨て手袋 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> パソコン (タブレットパソコン) |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器) | <input type="checkbox"/> 無線ルーター (Wi-Fi ルーター) |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | |
| <input type="checkbox"/> ラップフィルム | <input type="checkbox"/> 食器 |
| <input type="checkbox"/> ホイッスル | <input type="checkbox"/> 耳栓 |
| <input type="checkbox"/> アイマスク | <input type="checkbox"/> 名刺 (P.8 参照) |
| <input type="checkbox"/> USB フラッシュメモリー | <input type="checkbox"/> デジタルカメラ |
| <input type="checkbox"/> 予備バッテリー (USB 機能付) | |

※ アンダーライン は EARTH 運営委員会事務局より貸与又は支給

MEMO